

(1). 構成

本機は一体型及び単体型と組み合わせて使用されるもので、表示部(各表示灯、電圧計)、操作部(電池試験スイッチ、主電源スイッチ)、電源部(電池を含む)、移報リレー、端子部から構成されております。

(2). 平常時(監視状態)

主電源スイッチ「SW」を<ON>すると、交流電源表示灯「LP」(発光ダイオード)が点灯し、電池「BAT」が充電されます。

同時に一体型及び単体型に DC24V 電源を供給し、表示灯を点灯させます。

(3). 火災発報

起動装置の押釦スイッチが押されると、継電器「F」が作動して火災表示灯「LF」(発光ダイオード)が点灯し、一体型又は単体型の音響装置(ベル)が鳴動します。

同時に移報端子より火災信号を送出します。

(4). 電池試験

電池試験スイッチ「ST」を<電池試験>側に倒すと、電池充電回路が切れ、回路には電池「BAT」から電源が供給されます。

同時に負荷抵抗「RBT」を通して、定格電流と同じかもしくはそれを上回る電流が流れ、この時の電池「BAT」の電圧が電圧計「V」に指示されます。

電圧系「V」の指針が赤線(20.4V)以上を示せば電池「BAT」は正常です。

(5). 主電源の停電

主電源が停電すると、交流電源表示灯「LP」(発光ダイオード)が消え、電源切替継電器「E」が復旧します。

継電器「E」が復旧すると、接点が切り替わり電池「BAT」から電源が供給されます。

(6). 定位置に復する操作

起動されている一体型及び単体型の起動装置の押釦スイッチを元に引き戻せば、火災表示灯「LF」、継電器「F」は復旧し、一体型及び単体型の音響装置(ベル)も鳴り止みます。

電池試験スイッチ「ST」は、つまみから手を離せば<定位>の位置に戻ります。